

2026年度 事業計画書

(2026年4月1日～2027年3月31日)

1. 財団運営について

2026年度の財団運営に関しては、基本となる助成事業の更なる充実に努めると共に、財団設立10周年にあたり、通常助成に加えて10周年助成金特別枠を設定して表彰を行う予定です。

また、11月末には10周年の謝恩行事の開催と、次の10年に向けたシステムの強靱化や、社会的インパクトの可視化を実施し、財団としての社会貢献活動をより強化してまいります。

2026年度 財団運営 スケジュール	2026年												2027年					
	2025年度			2026年度 第10期 財団運営									2027年度					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
評議員会						★前年度事業報告・決算承認												
内閣府報告						★内閣府報告												
理事会 第1回						★前年度事業報告・決算承認												
第2回						★GW株議決権行使(書面)												
第3回										★(新)助成事業募集要項の承認								
第4回													★助成明細承認(書面)					
第5回				★次年度事業計画												★次年度事業計画		
10周年記念行事												★財団10周年記念行事						
贈呈式						★贈呈式												

2. 公益事業(1) 助成事業

(1) 助成事業のスケジュール

今年度は、次の10年にむけて募集要項の一部改訂を予定しており、第3回理事会での承認後、対象団体への丁寧な説明会を開催して周知徹底を図ってまいります。また、選考委員の先生方の負担軽減のために基幹システムの改修も行ってまいります。

2026年度 助成事業 スケジュール	2026年												2027年						
	2025年度			2026年度 第10期 助成事業									2027年度						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
(新)募集要項承認									★										
助成対象団体説明									←→										
募集要項開示									★										
募集期間										←→									
選考(選考委員会)													★	★	★				
決定(理事会承認)																★(書面)			
助成金支払い																		★	
贈呈式																		★	
助成者活動期間																2027年4月～28年3月			
報告書提出																2028年5月末			

(1) 助成対象事業と助成予定額(通常枠)

今年度の通常助成事業については、下表のとおり前年対比103.8%の総額200,000千円を計上いたします。

助成事業名	助成予算金額(円)	前年度実績(円)	前年比(%)
① 障がい者スポーツ支援事業	69,000,000	66,080,000	104.4%

② 次世代育成事業	69,000,000	66,310,000	104.0%
③ 富山県スポーツ振興事業	62,000,000	60,180,000	103.0%
助成事業合計	200,000,000	192,570,000	103.8%

3. 公益事業（2）講演・体験事業

前年度は、車いすラグビーのチャリティーマッチに加え、滑川市での2回の体験会を実施することができましたが、今年度については、富山県車いすバスケットボールクラブとの連携を深め、年間10回の開催を目標として、5,000千円の予算を計上して、富山県での共生スポーツ社会の実現に寄与できるよう体験会の開催に注力をいたします。

4. 10周年記念特別事業

今年度は、前年度末に積み立てをした「公益充実資金」と「特別費用準備資金」を活用して、10周年の謝恩事業と、次の10年にむけた財団の基盤整備と、自立的なガバナンスの充実を図るため、総額45,000千円の予算で特別事業を予定しております。

	事業内容	金額（単位：円）	経費計上
1	基幹システムの強靱化	総額 10,000,000	事業費 (減価償却費)
2	10周年記念 助成金特別枠の表彰	10,000,000	事業費（1）
3	10周年謝恩イベントの開催	10,000,000	管理費
4	10周年記念誌・ホームページの作成	5,000,000	管理費
5	社会的インパクト評価と可視化資料の作成	10,000,000	管理費
	合計	45,000,000	

（1）財団10周年記念謝恩行事の開催

2026年11月25日に財団10周年を記念し、今まで財団発展にご支援をいただいた歴代の理事、監事、評議員、選考委員、富山県共生スポーツ協議会のメンバーなど100名程度をご招待し、謝恩のイベントを計画しており、予算15,000千円を予定しております。

（2）助成事業の基幹システムの強靱化

2022年度より本財団の助成申請から選考、報告書の作成にいたる一連の作業をシステム化して、すべてWEB上で行えるようにしてきましたが、様々な要望に対して、毎年の手直しや都度システム追の加などで対応してまいりました。財団10周年を機に、次の10年を見据えて基幹システム強靱化のために大幅改修を実施いたします。その予算として総額10,000千円を予定しております。なお、新システムは資産として計上されるため、収支予算書においては減価償却費（10月より稼働予定のため5年償却の半年分を計上）として計上しております。

（3）財団公益事業の社会的インパクト可視化に向けた事業

2025年度に、富山県における部活動地域展開の事業が社会に与えるインパクトを可視化するためにインパクトパスの作成を実施いたしました。今年度は、それに加えて、財団事業全体のインパクトパスを作成し、財団事業が社会に与えるプラスインパクトを可視化し、効率的な事業運営を行うとともに、ステークホルダーに対する説明責任を果たすための情報開示基盤を整えてまいりま

す。なお、この事業に関しては、総額10,000千円を予定しております。

5、管理部門

(1) 富山県共生スポーツ協議会の継続開催

公益目的事業(1)助成事業のうち、③富山県スポーツ振興事業の拡充を目指し、2023年度より実施している「富山県共生スポーツ協議会」は、富山県における関係者が一同に会して問題点の共有を図ると共に、学校部活動、総合型地域スポーツクラブでの活動、そして障がい者のスポーツ活動を含めて、富山県における共生スポーツ社会の実現に向けた勉強会です。スポーツ庁の部活動地域展開の制度設計が確定したものの、富山県教育委員会の部活動地域展開のガイドラインが確定していないことから、本事業年度も継続して課題解決に向け、勉強会を開催します。単年度では5,000千円の経費計上をいたします。

(2) 能登半島地震被災地におけるスポーツ機会維持の支援

2024年度より開始した当該支援事業は、本事業年度を最終事業年度として、支援を行います。支援額は凡そ10,000千円を予定しています。

(3) 日本パラリンピック協会等に対する支援

公益財団法人日本パラリンピック協会が実施する「I'm POSSIBLE」事業は、『共生社会の実現に向け、気づき、考え、行動を起こす力を育む』ことを目的としており、本財団の公益事業(2)の学び体験事業との親和性が高いことから、当該事業に関する公益目的事業に対して寄附金5,000千円を支出する予定です。

以上